

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年01月14日

計画の名称	津山市城下地区にぎわい再生整備計画												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成30年度 (2年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	津山市												
計画の目標	城下町津山の魅力を活かした広域交流拠点の形成 目標1 : 県北の中心都市としての都市機能の集積 目標2 : 津山城跡を中心とした観光・文化機能と都市機能が融和した都市空間の形成												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	370	A	370	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27)	中間目標値 (H29)	最終目標値 (H30)
1	県北地域の広域的な交流拠点を整備し、既存の都市機能と連携したエリアの活力と魅力を創造することにより、中心市街地の交流人口の増加を図る。 中心市街地において経年的にデータを計測している地点での平日・休日の通行量(4地点)の(加重)平均値を把握する。	5511人/日	5670人/日	5840人/日
2	津山城跡の石垣への眺望を確保し、城下地区の観光・文化機能の強化を図ることにより、城下地区にある歴史文化関連施設の利用者の増加を図る。 中心市街地において経年的データを計測している歴史文化関連施設(2施設)の利用者数を把握する。	129261人	132500人	135700人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31	R02	R03				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	津山市	間接	新津山国際 ホテル株式 会社	-	-	山下地区暮らし・にぎわ い再生事業	津山国際ホテル A = 0.36	津山市						370		未策定	
												小計						370		
											合計						370			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
津山市	令和2年1月
	公表の方法
	津山市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本施設を整備し、既存の都市機能と連携したエリアの活力と魅力を創造したことにより、交流人口が増加し、中心市街地の活性化に繋がった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣商店街などの店舗から「客数が増加した」とした声が多く寄せられており、近隣店舗への波及効果もあると考える。 ・本施設の整備により、まちづくりへの機運が高まっており、さらなる中心市街地の整備に期待の声が寄せられている。
特記事項（今後の方針等）	
まちづくりへの機運が高まっていることから、この機運を逃すこと無く、民間や市民などと連携し、賑わいの創出に向けた取組が必要不可欠である。庁内関係部署の施策とも連携し、更なる中心市街地の賑わいの創出を目指す。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	平日・休日の通行量（4地点）の（加重）平均値	
	最終目標値	5840人/日
	最終実績値	6711人/日
2	歴史文化関連施設（2施設）の利用者数	
	最終目標値	135700人
	最終実績値	145494人